

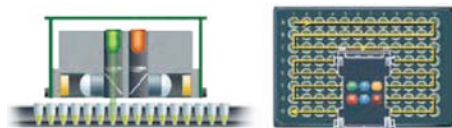
分析機器部門講習会シリーズ

CFX96 Touch リアルタイム PCR 解析システム デモンストレーションのご案内

システムの概要と特徴：

CFX96 Touch リアルタイム PCR 解析システムは従来にはない革新的な光学系を採用しており、その卓越した温度制御性能により高精度且つ高感度な遺伝子解析が可能となります。

- ① 96 well Low Profile フォーマット。少～中容量サンプルでの測定に最適化。
- ② LED 光源&フォトダイオードで構成されるシャトルが1 ウェルずつ励起/検出を高速で行う光学系を採用し、高感度且つクロストークのないデータが短時間で得られます。
- ③ 8 段階の温度グラジエントを機能により1回の実験で最適アニーリング温度や設計したプライマーの温度安定性を瞬時に判断できます。
- ④ 専用ソフトウェアは遺伝子発現解析～統計解析（t 検定/One-way ANOVA）までカバーします。



左図：CFX Touchシリーズの光学シャトルがプレート直上をスキャンして検出します。励起光は各ウェルの中心に直接集束されます。上図はウェル直上から緑色LEDをウェルに照射する光学シャトル側面図
右図：CFX Touchシリーズの光学シャトルはプレート直上を最短光路を維持して1ウェルに1蛍光ずつ励起・検出を行います。

チャンネル	励起波長 (nm)	検出波長 (nm)	測定可能な色素
1	450-490	515-530	FAM, SYBR Green I
2	515-535	560-580	VIC, HEX, TET, Cal Gold 540
3	560-590	610-650	ROX, TEXAS RED, Cal Red 610
4	620-650	675-690	CY5, Quasar 670
5	672-684	705-730	Quasar 705
6	450-490	560-580	FRET ケミストリー用

講師：寺田 智子（バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 アプリケーションスペシャリスト）

* 本講習会では、分析機器部門に未導入の機器・技術について紹介します。

日 時：平成31年2月26日（火）13:30～15:00

受講対象：利用者

講習内容：CFX システムの特徴ご紹介と操作方法のご説明

場 所：基礎研究棟4階遺伝情報解析室

定 員：10名

申込期間：平成31年2月19日（火）まで

申込方法：電子メールで、subject を「CFX96」として、「講習会名」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」を明記の上、yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当：伊藤（内線：2403、Email：yitoh@med.nagoya-u.ac.jp）

※Web でも講習会情報を掲載しています（<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>）